

三洋化成の挑戦を知る 3つのポイント

1 化学のちからで 化学の枠を越える

化学のちからは無限ととらえる三洋化成。化学のちからで化学の枠を越えたイノベーションに取り組む。たとえば宮崎県新富町と協力し、化学肥料や農薬の低減と高付加価値作物の生産につながる「ペプチド農業」の開発や、匂いの可視化で生活の質を高める「匂いセンサー」の事業化を目指すなど、三洋化成の技術・ノウハウと外部の知見とのハイブリッドで新ビジネスを創出中だ。



2 カーボンニュートラルの達成とQOL向上に貢献

2030年のありたい姿に向けた経営方針「Waku Waku Explosion 2030」において、カーボンニュートラルの達成とQOL向上への貢献を掲げて取り組みを推進している。CO₂削減と回収・利用およびエネルギー・マネジメントを進めるとともに、QOL向上を実現する新製品開発やヘルス・メディカルケアおよびライフケア事業を展開。持続可能な社会の実現に貢献していく。



3 ワクワクする未来に向けて OneTeamで取り組む

「OneTeam」という言葉には、営業・研究・生産・コーポレートといった部署の枠を越えて、メンバーが一丸となって考え、挑戦していく意志が込められている。実現のためには、会社の目指すゴールへの道すじを、各部署そして個人が現場レベルまで落とし込んで実行することが不可欠だ。挑戦を繰り返して、グローバルでユニークな高収益企業へ飛躍し、ワクワクする未来の実現を目指していく。



きょうの 挑戦者たち 最終回

化学のちからで、ワクワクする未来を目指す！

「きょうの挑戦者たち」最終回にご登場いただくのは

三洋化成代表取締役社長 樋口章憲さん。

「全従業員が主役となり、化学のちからでイノベーションを起こす！」
との情熱あふれるお話をお聞きしました。

三洋化成とは

京都を代表する機能化学品メーカー。生活・健康、石油・輸送機、プラスチック、繊維、情報・電気電子、環境・住設などの産業分野で幅広く事業を展開。1949年、三洋油脂工業株式会社を創立。1963年から現社名。東証プライム市場上場。連結従業員数2106名。米国、中国、韓国、台湾、タイ、マレーシアに事業拠点をもつ(2022年12月31日現在)。1907年に創立した前身の多田石鹼油脂製造所時代を含めて、京都で100年以上の企業として「京の老舗」にも選ばれている。



三洋化成工業株式会社

〒京都市東山区一橋野本町11-1
よりバス停は「泉涌寺道」

公式
WEBサイト



従業員が主体性を持つて最大限の能力を發揮することで、新たな付加価値を社会に生み出す。こうして、三洋化成はワクワクする未来が拓けると信じています。実はいま、京都府や京都市と連携し、京都伝統産業が抱える課題の化学的解決に挑むプロジェクトに携わっています。これはまさに従業員たちの個人の情熱によって始まりました。社会的にも意義深いものです。

私たちちは「化学のちからで化学の枠を越えてイノベーションを起こす」を合言葉に、「カーボンニュートラルの達成」と「QOL(クオリティ・オブ・ライフ、生活の質)向上」に貢献しています。これからの時代を考え上で、この2つは欠かせません。様々な課題と向き合い、私たちらしい価値の提供を行っていきます。

成功のカギを握るのは「スピード」です。お客さまからは欲しいものを必要なタイミングで提供することが求められています。

京都の機能化学品メーカーとして、110年以上、暮らしを支える

三洋化成工業株式会社は東福寺駅の北側に本社があります。創業は1949年ですが、前身である多田石鹼油脂製造所を含めると110年以上の歴史があります。私たちは「機能化学生産メーカー」として、みなさまの暮らしに役立つ機能化学生産品を一貫して生み出してきました。

機能化学生産とは、「はたらき」、すなわち機能や性能を付与した化学生産のこと。そのはたらきこそが、私たちが社会に提供する付加価値です。

「もっときれいに」「もっと安全に」「もっと地球にやさしく」と願いながら、お客さまとしてその先にある社会の要望に耳を傾け、社は「企業を通じてよりよい社会を建設しよう」のもと、B to B企業として解決策(ソ

リューション)を提供し続けてきました。このようにして生み出した私たちの製品群は、約3000種類にも上ります。

三洋化成は、*DEIの推進や働き方改革などにより、多様な人材が誇りや働きがいを感じながら、自分らしさの要望を取り入れながら、さらには事業を立ち上げて、そのあとお客様を立ち上げ、その後お客様をはじめ形にしていくべきなのです。小さくても構わないから「すぐに」結果を出す。そのためには「自前主義」にこだわりすぎず、足りない部分を補うべく異業種と協業することも重要なことです。いま、若手社員が中心となるのが従業員個人の情熱です。全従業員の情熱とスピードで結果を出していく

1日でも早くお役に立つために、お客様が満足するラインまで到達できればスタートすればいい。まずは事業を取り入れながら、さらには事業を立ち上げて、そのあとお客様の要望を取り入れながら、さらには事業を立ち上げて、その後お客様をはじめ形にしていくべきなのです。小さくても構わないから「すぐに」結果を出す。そのためには「自前主義」にこだわりすぎず、足りない部分を補うべく異業種と協業することも重要なことです。いま、若手社員が中心となるのが従業員個人の情熱です。全従業員の情熱とスピード感をもつて挑戦し続けます。

*ダイバーシティ(多様性)、エクイティ(公平性) & インクルージョン(愛容)

三洋化成工業株式会社

〒京都市東山区一橋野本町11-1
よりバス停は「泉涌寺道」

公式
Twitter

